

授業科目名： 体育社会学 【シラバス共通科目 (熊大・佐大)	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 大石康晴／山田 力也
			担当形態： クラス分け・単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健 体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育 史」・運動学（運動方法学を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ ・現代社会における体育・スポーツを取り巻く様々な現象を社会的に検討することを通じて、 これらをめぐる問題や課題について考察する力を養う。 ・体育に加えスポーツの社会的な捉え方の基礎を養うと同時に、体育社会学がスポーツ科学 の一つの重要な専門学であることを理解する。			
授業の概要 スポーツは現代社会において、文化の一つとして人びとの生活のあらゆる側面に深く浸透し ている。本授業では、体育を取り巻く様々な現象を社会的に検討し、それらをめぐる問題や 課題について考察することを通じて、体育・スポーツ科学の一つの専門領域である体育社会学 の見方、考え方を解説する。そこでは、スポーツの高度化や大衆化が社会にプラスのみならず マイナスの機能も生じさせている事実とその乗り越えの可能性についても考察していく。			
授業計画 第1回：体育・スポーツの社会的意味 第2回：現代社会と体育・スポーツ 第3回：体育・スポーツと政策 第4回：体育・スポーツと地域社会 第5回：体育・スポーツと経済 第6回：体育・スポーツと健康 第7回：体育・スポーツと社会化 第8回：体育・スポーツとメディア 第9回：体育・スポーツとグローバル化 第10回：体育・スポーツとジェンダー 第11回：体育・スポーツとノーマライゼーション 第12回：体育・スポーツと暴力 第13回：体育・スポーツと社会病理 第14回：スポーツ文化論			

第15回：体育社会学における学術研究の動向

定期試験

テキスト

特になし（適宜担当教員から資料配布する）

参考書・参考資料等

体育社会学研究 1~10、体育・スポーツ社会学研究 1~10(道和書院)

スポーツ社会学研究（日本スポーツ社会学会）

森川・佐伯編著「スポーツ社会学講義」大修館、1989

井上俊編著「スポーツ文化を学ぶ人のために」世界思想社、2000

西山哲郎「近代スポーツ文化とは何か」世界思想社、2006

佐伯年詩雄「現代スポーツを読む」世界思想社、2006

大谷義博監修「変わりゆく日本のスポーツ」世界思想社、2008

松田・松尾・安松編著「福祉社会のアミューズメントとスポーツ」2010

井上・菊編著「よくわかるスポーツ文化論」2020

学生に対する評価

授業への取り組みによる平常点（20%）、レポート（20%）、定期試験（60%）

授業科目名： トレーニング科学 【独自科目（佐大）】	教員の免許状取得のための 選択科目（中学校 保健体育） 選択科目（高等学校 保健体育）	単位数： 2単位	担当教員名： 町田 正直 担当形態： 単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 体力の各要素について理解する。 体力の各要素の優劣に与える要因について理解する。 体力テストと体力の関係について理解する。 トレーニング計画の基礎を理解する。			
授業の概要 本授業では、体力の各要素と体力の各要素の優劣に与える要因、また、その能力を測定するための体力テストと体力の関係についての解説を行う。また、それらの能力を高めるためのトレーニング方法について、その実践例と合わせて解説する。			
授業計画 第1回：体力への理解 第2回：行動体力1（筋力・筋パワー・筋持久力・全身持久力） 第3回：筋力 第4回：筋力と筋持久力 第5回：筋力とパワー（力とスピード） 第6回：筋持久力と全身持久力 第7回：行動体力2（巧緻性） 第8回：行動体力3（意志・意欲・判断） 第9回：体力テストと体力 第10回：トレーニング計画基礎 第11回：トレーニング実践 筋力・筋パワーを高めるトレーニング 第12回：トレーニング実践 筋持久力・全身持久力を高めるトレーニング 第13回：トレーニング実践 巧緻性を高めるトレーニング 第14回：防衛体力と行動体力 第15回：防衛体力の向上を高めることを目指したトレーニング			

定期試験
テキスト 体力トレーニング論：ISBN-9784469268577
参考書・参考資料等 なし
学生に対する評価 定期試験100%

授業科目名： ヘルスプロモーション演習 【独自科目（佐大）】	教員の免許状取得のための 選択科目（中学校 保健体育） 選択科目（高等学校 保健体育）	単位数： 2単位	担当教員名： 井上 伸一 担当形態： 単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 健康のための運動指導の技術を身につけるとともにそれぞれの運動の効果や特性について理論的な理解を深める。また健康に関する種々の測定方法について学ぶとともに、その測定値の意義を深く理解する。			
授業の概要 健康のための種々の運動について理論的に理解するとともに、その指導方法を実践的に学ぶ。佐賀大学が地域貢献事業としておこなっている健康教室に参加し、地域住民に運動指導をおこなっていく中で、指導方法を身につけるとともに、種々の測定をおこなうことで運動の効果について理解を深める。			
授業計画 1. オリエンテーション 2. ストレッチの方法と意義 3. 筋力トレーニングの方法と意義 4. リズムダンスの方法と意義 5. 血圧の測定方法と測定値の評価 6. 骨密度の測定方法と測定値の評価 7. 体組成の測定方法と測定値の評価 8. 健康教室で血圧を測定 9. 健康教室で骨密度、体組成を測定 10. 健康教室に参加し運動指導を実施しその意義を講義する(ストレッチ) 11. 健康教室に参加し運動指導を実施しその意義を講義する(筋力トレーニング) 12. 健康教室に参加し運動指導を実施しその意義を講義する(リズムダンス) 13. 健康教室で血圧、骨密度、体組成を測定 14. 運動効果について評価 15. まとめ 定期試験は実施しない			
テキスト 使用しない。適宜、資料を配付する。			
参考書・参考資料等 使用しない。授業中に、適宜、紹介する。			
学生に対する評価			

毎回のリフレクションシート40%, レポート30%, 意欲 (授業への取組) 30%

授業科目名：保健体育科 課題研究Ⅰ 【独自科目（熊大）】	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 井福 裕俊（熊本大学） 大石 康晴（熊本大学） 末永 祐介（熊本大学） 坂本 将基（熊本大学）
			担当形態：複数
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 ・体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する専門知識を身に付ける。 ・これらの基礎的な専門知識を基に、体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する研究を行うための基礎的能力を身に付ける。			
授業の概要 体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する資料収集、文献輪読、演習を中心にゼミ形式で学習を行う。			
授業計画 第1回：概要説明 第2回：保健体育教員に求められる体育原理の見方・考え方 第3回：保健体育教員に求められる体育原理に関する諸問題の把握と解決法 第4回：保健体育教員に求められる体育心理学の見方・考え方 第5回：保健体育教員に求められる体育心理学に関する諸問題の把握と解決法 第6回：保健体育教員に求められる体育経営管理学の見方・考え方 第7回：保健体育教員に求められる体育経営管理学に関する諸問題の把握と解決法 第8回：保健体育教員に求められる体育社会学の見方・考え方 第9回：保健体育教員に求められる体育社会学に関する諸問題の把握と解決法 第10回：保健体育教員に求められる体育史の見方・考え方 第11回：保健体育教員に求められる体育史に関する諸問題の把握と解決法 第12回：保健体育教員に求められる運動学の見方・考え方 第13回：保健体育教員に求められる運動学に関する諸問題の把握と解決法 第14回：体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する研究に向けた準備			

第15回：総括
テキスト
授業中に適宜資料を配布する。
参考書・参考資料等
中学校学習指導要領解説 保健体育編（文部科学省） 体育科教育学入門 三訂版（岡出美則、大修館書店） 運動指導の心理学（杉原隆、大修館書店） よくわかるスポーツ文化論（井上俊、ミネルヴァ書房） 教養としての体育原理（友添秀則、大修館書店） ストレングストレーニング&コンディショニング（石井直方、ブックハウスHD）
学生に対する評価
課題への取組（60%）、討議への積極的参加度（40%）

授業科目名：保健体育科 課題研究Ⅱ 【独自科目（熊大）】	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 井福 裕俊（熊本大学） 大石 康晴（熊本大学） 末永 祐介（熊本大学） 坂本 将基（熊本大学） 担当形態：複数
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 ・体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する高度な専門的知識を身に付ける。 ・これらの高度な専門的知識を基に、体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する研究を行うための実践的能力を身に付ける。			
授業の概要 体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する資料収集、文献輪読、演習を中心にゼミ形式で学習を行う。			
授業計画 第1回：概要説明 第2回：体育原理に関する研究に向けた準備（関連文献の輪読） 第3回：体育原理に関する研究に向けた準備（データ収集および分析） 第4回：体育心理学に関する研究に向けた準備（関連文献の輪読） 第5回：体育心理学に関する研究に向けた準備（データ収集および分析） 第6回：体育経営管理学に関する研究に向けた準備（関連文献の輪読） 第7回：体育経営管理学に関する研究に向けた準備（データ収集および分析） 第8回：体育社会学に関する研究に向けた準備（関連文献の輪読） 第9回：体育社会学に関する研究に向けた準備（データ収集および分析） 第10回：体育史に関する研究に向けた準備（関連文献の輪読） 第11回：体育史に関する研究に向けた準備（データ収集および分析） 第12回：運動学に関する研究に向けた準備（関連文献の輪読） 第13回：運動学に関する研究に向けた準備（データ収集および分析） 第14回：体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史、運動学等に関する研究に向けた準備（テーマの設定）			

第15回：総括

テキスト

授業中に適宜資料を配布する。

参考書・参考資料等

中学校学習指導要領解説 保健体育編（文部科学省）

体育科教育学入門 三訂版（岡出美則、大修館書店）

運動指導の心理学（杉原隆、大修館書店）

よくわかるスポーツ文化論（井上俊、ミネルヴァ書房）

教養としての体育原理（友添秀則、大修館書店）

ストレングストレーニング&コンディショニング（石井直方、ブックハウスHD）

学生に対する評価

課題への取組（60%）、討議への積極的参加度（40%）

授業科目名： 生理学（運動生理学を含む） 【シラバス共通科目 （熊大・佐大）】	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 大石 康晴、坂本 将基/ 町田 正直 担当形態： クラス分け・複数/単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・生理学（運動生理学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 ・エネルギー代謝を中心とした運動時における身体の生理反応について理解する。 ・骨格筋の構造と機能を中心としたトレーニングに対する身体の生理反応について理解する。 ・心拍数、酸素摂取量、二酸化炭素排出量、筋力などの生理反応を利用したトレーニング計画方法について理解する。			
授業の概要 各授業では学生に必要な追加資料を配布し、生理学に関する基本的な知見について概説する。さらに、運動・トレーニングに対する生体の適応についても解説する。			
授業計画 第1回：生理学・運動生理学の概要（大石、坂本/町田） 第2回：運動のエネルギー（大石、坂本/町田） 第3回：筋系の収縮メカニズムとエネルギー・筋量と筋力の関係（大石、坂本/町田） 第4回：神経系（運動神経）・運動単位と筋線維タイプ（大石、坂本/町田） 第5回：神経系（感覚神経）・フィードバック機構（大石、坂本/町田） 第6回：血液の成分とエネルギー・エネルギー産生に必要な素材（大石、坂本/町田） 第7回：循環系・運動エネルギー産生に必要な素材の運搬（大石、坂本/町田） 第8回：呼吸器系・運動エネルギー産生に必要な素材の収集と排出（大石、坂本/町田） 第9回：消化器系・運動エネルギー産生に必要な素材の吸収（大石、坂本/町田） 第10回：運動時のエネルギー供給・ATPとエネルギー（大石、坂本/町田） 第11回：神経系（中枢神経）・感覚情報の統合と運動出力（大石、坂本/町田） 第12回：内分泌系・ホルモンとエネルギー代謝（大石、坂本/町田） 第13回：内分泌系・ホルモンと筋肥大（大石、坂本/町田） 第14回：環境への身体順応（大石、坂本/町田） 第15回：生理反応とトレーニング計画（大石、坂本/町田） 定期試験：			
テキスト			

3訂版・運動生理学の基礎と発展 星雲社；三訂版（2018/9/1）ISBN-13:978-4434250231

参考書・参考資料等

なし

学生に対する評価

定期試験（100%）

授業科目名： 解剖学 【独自科目（佐大） 】	教員の免許状取得のための 選択科目（中学校 保健体育 ） 選択科目（高等学校 保健体 育）	単位数： 1単位	担当教員名： 川久保 善智、町田 正直 担当形態： オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健 体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・生理学（運動生理学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 身体活動と関連の強い人体の各器官系の構造について理解する。 各器官系と身体活動との関連を理解する。			
授業の概要 本授業では、体育の教員として理解してほしい、身体活動と関連の強い人体の各器官系の構造 とそれらの器官系と身体活動との関連について解説する。また、授業の後半には解剖供覧を行 い、人体の構造についての理解を深める。			
授業計画 第1回：骨格系と筋系（町田 正直） 第2回：呼吸器系と心臓血管系（町田 正直） 第3回：神経系と内分泌系（町田 正直） 第4回：消化器系（川久保 善智） 第5回：解剖供覧（川久保 善智） 第6回：解剖供覧（川久保 善智） 第7回：解剖供覧（川久保 善智） 第8回：全体復習・試験（町田 正直）			
テキスト 人体の構造と機能 第4版 ISBN 978-4-260-02055-8			
参考書・参考資料等 なし			
学生に対する評価 定期試験100%			

授業科目名： 生理学実験・演習 【独自科目（熊大）】	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 大石康晴（熊本大学） 坂本将基（熊本大学） 担当形態： 複数
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・生理学（運動生理学を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 各種の実験や演習を通して、人体の生理的特性について理解する。			
授業の概要 各種の実験により生理的特性を測定し、それについてグループディスカッションを行いレポートにまとめる。			
授業計画 第1回：オリエンテーション（授業の進め方や内容、評価について） 第2回：心拍数の測定と評価 第3回：呼吸数の測定と評価 第4回：運動時における心拍数と呼吸数の測定と評価 第5回：最大酸素摂取量の基礎 第6回：最大酸素摂取量の測定と評価（定常負荷による運動） 第7回：最大酸素摂取量の測定と評価（漸増負荷による運動） 第8回：筋線維組成の基礎 第9回：間接的手法による筋線維組成の測定 第10回：筋線維組成の評価 第11回：瞬発力の測定と評価 第12回：持久力の測定と評価 第13回：最大筋力の測定と評価 第14回：筋疲労時における最大筋力の測定と評価 第15回：まとめ 定期試験：実施しない（レポート提出有り）			
テキスト 必要に応じて準備し配布する。			
参考書・参考資料等 ・春日規克編「運動生理学の基礎と発展」星雲社			

・勝田茂編「運動生理学20講」朝倉書店

学生に対する評価

参加態度 (25%)、授業に対する積極性 (25%)、レポート (50%)

授業科目名：衛生・公衆衛生学 【共同科目（熊大）】	教員の免許状取得のための必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 坂本 将基（熊本大学） 伊藤 雅浩（熊本大学） 担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・衛生学・公衆衛生学		
授業のテーマ及び到達目標 ・衛生学および公衆衛生学の概念と意義を説明することができるようになる。 ・ヒトの健康に影響を及ぼす自然環境や社会的環境について理解する。			
授業の概要 衛生学および公衆衛生学上の主要な問題点について概説する。そのうえで、社会や環境と健康の関わりについて考察し、議論していく。			
授業計画 第1回：健康の定義、生活と健康（坂本、伊藤） 第2回：疫学の特徴と方法（伊藤） 第3回：疾病予防と健康管理（伊藤） 第4回：感染症（伊藤） 第5回：環境保健（坂本） 第6回：地域保健と保健行政（伊藤） 第7回：母子保健と小児保健（坂本） 第8回：学校における子どもの健康（坂本） 第9回：職場の健康（伊藤） 第10回：高齢者の保健・医療・介護（坂本） 第11回：精神保健（坂本） 第12回：保健統計（坂本） 第13回：国際保健医療（坂本） 第14回：保健医療福祉の制度と法規（坂本） 第15回：まとめ（坂本、伊藤） 定期試験			
テキスト 授業中に適宜資料を配布する。			
参考書・参考資料等			

シンプル衛生公衆衛生学（鈴木庄亮監修、南江堂）

衛生学（近藤雄二編、化学同人）

学生に対する評価

レポート試験（70%）、事前・事後学習の状況（30%）

授業科目名： 学校保健	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：井福裕俊、坂本将基、伊藤雅浩 担当形態：オムニバス
【共同科目（熊大）】			
科 目	教科および教科の指導法に関する科目（中学校および高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 学校現場における保健問題の現状を理解し、基本的知識を身につけることで、課題解決を図れるようになる。			
授業の概要 学校現場における保健問題の現状や子どもの健康問題について理解し、基本的知識を身につけながら、課題解決の方法を探る。			
授業計画 第1回：オリエンテーション（全15講分の講義の概要説明）（担当：全教員） 第2回：学校におけるヘルスプロモーション（担当：伊藤） 第3回：学校における環境衛生（担当：伊藤） 第4回：健康な生活と疾病の予防（担当：伊藤） 第5回：感染症（担当：伊藤） 第6回：応急手当（担当：伊藤） 第7回：心肺蘇生法（担当：伊藤） 第8回：熱中症とその予防（担当：井福） 第9回：子どもの発育・発達（担当：井福） 第10回：子どもの健康問題（1）肥満（担当：井福） 第11回：子どもの健康問題（2）立位姿勢とからだの歪み（担当：井福） 第12回：子どもの健康問題（3）扁平足と浮き指（担当：井福） 第13回：子どもの健康問題（4）起立性調節障害 一起立性低血圧を中心に（担当：井福） 第14回：精神保健の基本（担当：坂本） 第15回：心の健康問題とその対応（担当：坂本）			
テキスト ・中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省） ・学校環境衛生管理マニュアル 「学校環境衛生基準」の理論と実践（平成30年5月 文部科学省）			
参考書・参考資料等			

・授業中に適宜資料等を配布する。

学生に対する評価

レポート試験 (100%)

授業科目名： 学校安全・救急処置 【独自科目（佐大）】	教員の免許状取得のための 選択科目（中学校 保健体育） 選択科目（高等学校 保健体育）	単位数： 2単位	担当教員名： 中村 有希 担当形態： 単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標 本授業のテーマは、中学校、高等学校における保健体育教員として、学校体育を中心とした学校管理下における教育活動のリスクマネジメント・クライシスマネジメントについて学修することを目的としている。到達目標は、以下の通りである。 1 学校管理下における災害の特徴を理解し、事故要因について考察することができる。 2 教育活動における教師のリスクマネジメント・クライシスマネジメントを理解できる。 3 救急処置の基本的スキルを修得することができる。			
授業の概要 本授業は、中学校、高等学校における保健体育教員として、学校安全の意義や学校体育を中心とした事故の動向と対策、救急処置の基本について理解する。また、安全教育の観点を踏まえ、学校体育を巡る事故動向を分析し、傾向と対策について教師役と生徒役に分かれて模擬授業を行う。			
授業計画 第1回 オリエンテーション（授業の目標と概要、成績評価、授業の進め方について） 第2回 学校安全の意義 第3回 安全管理（リスクマネジメント・クライシスマネジメント含む）と安全教育 第4回 学校管理下における事故の現況について 第5回 重大事故の特徴と発生要因の分析①事故事例・判例（運動部活動）を基に 第6回 重大事故の特徴と発生要因の分析②事故事例・判例（体育授業・体育的行事）を基に 第7回 学校体育における事故と対策①運動部活動における事故の特徴（模擬授業①） 第8回 学校体育における事故と対策②体育授業における事故の特徴（模擬授業②） 第9回 学校体育における事故と対策③体育的行事における事故の特徴（模擬授業③） 第10回 教育活動全般の事故の特徴と対策（模擬授業④） 第11回 救急処置の基本 第12回 救急処置法実習①心肺蘇生法 第13回 救急処置法実習②異物除去法 第14回 学校安全の課題 第15回 総括リフレクション（リフレクションレポートの作成について） 定期試験			
テキスト ・中学校学習指導要領（平成29年3月告示・文部科学省） ・中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年7月・文部科学省） ・高等学校学習指導要領（平成30年3月告示・文部科学省） ・高等学校学習指導要領解説保健体育編（平成30年7月・文部科学省） ・教員養成系大学保健協議会（2024）「学校保健ハンドブック（第8次改訂）」ぎょうせい			
参考書・参考資料等 ・岡出美則/友添秀則/岩田靖（2021）「体育科教育学入門（三訂版）」大修館書店			

・環太平洋大学体育学部（2023）「体育授業のリスクマネジメント実践ハンドブック」大修館書店

学生に対する評価

定期試験40%、提出物30%、発表20%、意欲（授業への取組）10%

授業科目名： 中等保健体育科指導 法Ⅰ 【シラバス共通科目 (熊大・佐大)】	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 末永 祐介、坂本 将基／中 村 有希 担当形態： クラス分け・複数／単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>本授業のテーマは、保健体育教員として「保健体育の授業をつくる」そして「保健体育の授業を実践する」ために必要な保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価・授業研究の方法などを理解することである。特に、中学校・高等学校の学習指導要領における保健体育科の目標である生涯にわたる健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、講義を通して保健体育科指導法の基礎を理解する。</p> <p>到達目標は、以下の通りである。</p> <p>1 保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価・授業研究の方法などの基本的な考え方を理解することができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>本授業は、講義を通して保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価・授業研究の方法などの基本的な考え方を理解する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション (授業の目標と概要、成績評価について・保健体育科の学びとは)</p> <p>第2回 保健体育の目標と内容① (学習指導要領解説保健体育編体育分野の理解)</p> <p>第3回 保健体育の目標と内容② (学習指導要領解説保健体育編保健分野の理解)</p> <p>第4回 保健体育教師を取り巻く制度 (教員の資質能力と法令)</p> <p>第5回 保健体育教師としての成長と教師教育 (学び続ける教員と授業研究)</p> <p>第6回 よい体育授業の条件 (体育授業の条件)</p> <p>第7回 体育の学習者論 (子どもの成長と体力・運動能力、運動技能の育成)</p> <p>第8回 体育の学習内容と教材・教具論 (体育授業の教材研究・ICT活用)</p> <p>第9回 体育の学習指導論 (主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善)</p> <p>第10回 体育の学習評価 (指導と評価の一体化のための学習評価)</p> <p>第11回 体育の授業評価 (体育授業改善に貢献する授業研究)</p> <p>第12回 体育の指導技術① (モニタリングと相互作用技術)</p>			

<p>第13回 体育の指導技術②（マネジメント方略）</p> <p>第14回 体育の指導技術③（インストラクション方略）</p> <p>第15回 総括リフレクション（リフレクションレポートの作成について）</p> <p>定期試験</p>
<p>テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）」東山書房（2018） ・ 文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」東山書房（2019） ・ 文部科学省「中学校学習指導要領解説（平成29年告示）保健体育編」東山書房（2018） ・ 文部科学省「高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）保健体育編 体育編」東山書房（2019） ・ 岡出美則/友添秀則/岩田靖（2021）「体育科教育学入門（三訂版）」大修館書店
<p>参考書・参考資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県教育委員会（2022）「中学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課 ・ 佐賀県教育委員会（2023）「高等学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課 ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター） ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター） ・ 高橋健夫（2003）「体育の授業を観察評価する」明和出版 ・ 日本保健科教育学会（2017）「保健科教育法入門」大修館書店 ・ 森昭三/和唐正勝（2002）「新版保健の授業づくり入門」大修館書店
<p>学生に対する評価</p> <p>定期試験50%、リフレクションレポート10%、授業リフレクション30%、意欲（授業への取組）10%</p>

授業科目名： 中等保健体育科指導 法Ⅱ 【シラバス共通科目 (熊大・佐大)】	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 末永 祐介、坂本 将基/ 中村 有希 担当形態： クラス分け・複数/単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校 保健 体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>本授業のテーマは、保健体育教員として「保健体育の授業をつくる」そして「保健体育の授業を実践する」ために必要な保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価・授業研究の方法などを理解することである。特に、中学校・高等学校の学習指導要領における保健体育科の目標である生涯にわたる健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、講義と演習を通して保健体育科指導法 (主として、体育分野の学習内容について) の基礎を理解する。</p> <p>到達目標は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価などの基本的な考え方を理解することができる。 2 学習指導要領において取り上げられている体育分野「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」「体育理論」についての授業づくりや授業研究の方法などの基本的な考え方を理解することができる。 			
<p>授業の概要</p> <p>本授業は、講義を通して保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価などの基本的な考え方を理解するとともに、演習を通して学習指導要領において取り上げられている体育分野「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」「体育理論」についての授業づくりや授業研究の方法などの基本的な考え方を理解する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション (授業の目標と概要、成績評価について・保健体育科の学びとは)</p> <p>第2回 体育の授業づくり① (体育学習指導案・学習ノートの作成方法)</p> <p>第3回 体育の授業づくり② (体育の学習評価・授業研究)</p> <p>第4回 体育の授業づくり③ (体育の教材研究・ICT活用)</p>			

<p>第5回 授業実践①（模擬授業実践演習「体育分野領域A」体づくり運動）</p> <p>第6回 授業実践②（模擬授業実践演習「体育分野領域B」器械運動）</p> <p>第7回 授業実践③（模擬授業実践演習「体育分野領域C」陸上競技）</p> <p>第8回 授業実践④（模擬授業実践演習「体育分野領域D」水泳）</p> <p>第9回 授業実践⑤（模擬授業実践演習「体育分野領域E」ゴール型）</p> <p>第10回 授業実践⑥（模擬授業実践演習「体育分野領域E」ネット型）</p> <p>第11回 授業実践⑦（模擬授業実践演習「体育分野領域E」ベースボール型）</p> <p>第12回 授業実践⑧（模擬授業実践演習「体育分野領域F」武道）</p> <p>第13回 授業実践⑨（模擬授業実践演習「体育分野領域G」ダンス）</p> <p>第14回 授業実践⑩（模擬授業実践演習「体育分野領域H」体育理論）</p> <p>第15回 総括リフレクション（リフレクションレポートの作成について）</p> <p>定期試験</p>
<p>テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）」東山書房（2018） ・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」東山書房（2019） ・文部科学省「中学校学習指導要領解説（平成29年告示）保健体育編」東山書房（2018） ・文部科学省「高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）保健体育編 体育編」東山書房（2019） ・岡出美則/友添秀則/岩田靖（2021）「体育科教育学入門（三訂版）」大修館書店
<p>参考書・参考資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県教育委員会（2022）「中学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課 ・佐賀県教育委員会（2023）「高等学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター） ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター） ・高橋健夫（2003）「体育の授業を観察評価する」明和出版 ・日本保健科教育学会（2017）「保健科教育法入門」大修館書店 ・森昭三/和唐正勝（2002）「新版保健の授業づくり入門」大修館書店
<p>学生に対する評価</p> <p>定期試験 30%、リフレクションレポート 30%、授業リフレクション 30%、 意欲（授業への取組） 10%</p>

授業科目名： 中等保健体育科指導 法Ⅲ 【シラバス共通科目 (熊大・佐大)】	教員の免許状取得のための 必修科目 (中学校) 選択科目 (高等学校)	単位数： 2単位	担当教員名： 末永 祐介、坂本 将基／堤 公一 担当形態： クラス分け・複数／単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校 保健 体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>本授業のテーマは、保健体育教員として「保健体育の授業をつくる」そして「保健体育の授業を 実践する」ために必要な保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評 価・授業研究の方法などを理解することである。特に、中学校・高等学校の学習指導要領にお ける保健体育科の目標である生涯にわたる健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向 けて、講義と演習を通して保健体育科指導法 (主として、保健分野の学習内容について) の基 礎を理解する。</p> <p>到達目標は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価などの基本的な 考え方を理解することができる。 2 学習指導要領において取り上げられている保健分野についての授業づくりや授業研究 の方法などの基本的な考え方を理解することができる。 			
<p>授業の概要</p> <p>本授業は、講義を通して保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評 価などの基本的な考え方を理解するとともに、演習を通して学習指導要領において取り上げら れている保健分野についての授業づくりや授業研究の方法などの基本的な考え方を理解する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション (授業の目標と概要、成績評価について・保健体育科の学びとは)</p> <p>第2回 学校保健と保健科教育① (学校保健計画・学校安全計画の意義と学習指導要領保健体育編の理解)</p> <p>第3回 学校保健と保健科教育② (保健主事の役割及び養護教諭との連携と学習指導要領保健体育編の理解)</p> <p>第4回 保健の授業づくり① (保健学習指導案・学習ノートの作成方法)</p> <p>第5回 保健の授業づくり② (保健の学習評価・授業研究)</p> <p>第6回 保健の授業づくり③ (保健の教材研究・ICT活用)</p>			

- 第7回 授業実践①模擬授業実践演習「健康な生活と疾病の予防」
 第8回 授業実践②模擬授業実践演習「心身の機能の発達と心の健康」
 第9回 授業実践③模擬授業実践演習「傷害の防止」
 第10回 授業実践④模擬授業実践演習「健康と環境」
 第11回 授業実践⑤模擬授業実践演習「現代社会と健康」
 第12回 授業実践⑥模擬授業実践演習「安全な社会生活」
 第13回 授業実践⑦模擬授業実践演習「生涯を通じる健康」
 第14回 授業実践⑧模擬授業実践演習「健康を支える環境づくり」
 第15回 総括リフレクション（リフレクションレポートの作成について）
 定期試験

テキスト

- ・文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）」東山書房（2018）
- ・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」東山書房（2019）
- ・文部科学省「中学校学習指導要領解説（平成29年告示）保健体育編」東山書房（2018）
- ・文部科学省「高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）保健体育編 体育編」東山書房（2019）
- ・教員養成系大学保健協議会（2024）「学校保健ハンドブック（第8次改訂）」ぎょうせい

参考書・参考資料等

- ・佐賀県教育委員会（2022）「中学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課
- ・佐賀県教育委員会（2023）「高等学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- ・岡出美則/友添秀則/岩田靖（2021）「体育科教育学入門（三訂版）」大修館書店
- ・高橋健夫（2003）「体育の授業を観察評価する」明和出版
- ・日本保健科教育学会（2017）「保健科教育法入門」大修館書店
- ・森昭三/和唐正勝（2002）「新版保健の授業づくり入門」大修館書店

学生に対する評価

筆記試験30%、リフレクションレポート30%、授業リフレクション30%、
 意欲（授業への取組）10%

授業科目名： 中等保健体育科指導 法Ⅳ 【シラバス共通科目 (熊大・佐大)】	教員の免許状取得のための 必修科目 (中学校) 選択科目 (高等学校)	単位数： 2単位	担当教員名： 末永 祐介、坂本 将基/ 堤 公一 担当形態： クラス分け・複数/単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>本授業のテーマは、保健体育教員として「保健体育の授業をつくる」そして「保健体育の授業を実践する」ために必要な保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価・授業研究の方法などを理解することである。特に、中学校・高等学校の学習指導要領における保健体育科の目標である生涯にわたる健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に向けて、講義と演習を通して保健体育科指導法を理解する。</p> <p>到達目標は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価などの考え方を理解することができる。 2 学習指導要領において取り上げられている体育分野「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」「体育理論」及び保健分野についての授業づくりや授業研究の方法などの考え方を理解することができる。 			
<p>授業の概要</p> <p>本授業は、講義を通して保健体育科の目標・カリキュラム・学習内容・学習指導法・学習評価などの考え方を理解するとともに、演習を通して学習指導要領において取り上げられている体育分野「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」「体育理論」及び保健分野についての授業づくりや授業研究の方法などの考え方を理解する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション (授業の目標と概要、成績評価について・保健体育科の学びとは)</p> <p>第2回 保健体育の目標・カリキュラム・学習内容 (学習指導要領解説保健体育編の理解)</p> <p>第3回 保健体育の授業づくり① (保健体育の学習評価・授業研究)</p> <p>第4回 保健体育の授業づくり② (保健体育の教材研究・ICT活用)</p>			

- 第5回 授業実践①（ICTを活用した附属中学校授業参観）
 第6回 授業実践②（主体的な学びの実現に向けた附属中学校授業参観）
 第7回 授業実践③（対話的な学びの実現に向けた附属中学校授業参観）
 第8回 授業実践④（深い学びの実現に向けた附属中学校授業参観）
 第9回 授業実践⑤（模擬授業実践演習「体育分野領域A」）
 第10回 授業実践⑥（模擬授業実践演習「体育分野領域B・C」）
 第11回 授業実践⑦（模擬授業実践演習「体育分野領域E」）
 第12回 授業実践⑧（模擬授業実践演習「体育分野領域F・G」）
 第13回 授業実践⑨（模擬授業実践演習「体育分野領域H」）
 第14回 授業実践⑩（模擬授業実践演習「保健分野」）
 第15回 総括リフレクション（リフレクションレポートの作成について）
 定期試験は実施しない

テキスト

- ・文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）」東山書房（2018）
- ・文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」東山書房（2019）
- ・文部科学省「中学校学習指導要領解説（平成29年告示）保健体育編」東山書房（2018）
- ・文部科学省「高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）保健体育編 体育編」東山書房（2019）
- ・岡出美則/友添秀則/岩田靖（2021）「体育科教育学入門（三訂版）」大修館書店
- ・教員養成系大学保健協議会（2024）「学校保健ハンドブック（第8次改訂）」ぎょうせい

参考書・参考資料等

- ・佐賀県教育委員会（2022）「中学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課
- ・佐賀県教育委員会（2023）「高等学校体育指導ハンドブック」佐賀県教育庁保健体育課
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校保健体育】（令和2年3月・国立教育政策研究所教育課程研究センター）
- ・高橋健夫（2003）「体育の授業を観察評価する」明和出版
- ・日本保健科教育学会（2017）「保健科教育法入門」大修館書店
- ・森昭三/和唐正勝（2002）「新版保健の授業づくり入門」大修館書店

学生に対する評価

リフレクションレポート30%、授業リフレクション60%、意欲（授業への取組）10%

授業科目名：木材加工 I（実習を含む） 【共同科目（熊大）】	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：田口 浩継、 大塚 芳生
			担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 技術及び高等学校 工業）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・材料加工（実習を含む。） ・工業の関係科目		
授業のテーマ及び到達目標 技術科教員に必要な木材加工の基礎基本として、①木材②木質材料の性能と特徴を理解する。			
授業の概要 森林の有益な機能，森林資源の保護と木材利用の調和，生物由来の木材の特性，木質材料の特徴，木材の接着・塗装加工法等			
授業計画 第1回：森林の有益な機能と森林伐採の是非（概論／森林資源の保護と木材利用の調和） （担当：田口 浩継） 第2回：生物由来の木材の特性（3方向と3断面を有する木材の異方性）（担当：田口 浩継） 第3回：木工手工具（木工かんなの構造と機能）（担当：田口 浩継） 第4回：木工手工具（のこぎりの構造と機能）（担当：田口 浩継） 第5回：木工手工具（木工用のみの構造と機能）（担当：大塚 芳生） 第6回：木工手工具（木工用きり等の構造と機能）（担当：大塚 芳生） 第7回：設計図に基づいた木製品の製作（材料取り、切断）（担当：大塚 芳生） 第8回：設計図に基づいた木製品の製作（切削、組み立て）（担当：大塚 芳生）			
テキスト 日本産業技術教育学会・技術教育分科会編，技術科教育概論，九州大学出版会 山下晃功編者：技術研究選書，木材の性質と加工，開隆堂			
参考書・参考資料等 検定済み教科書（技術・家庭科）			
学生に対する評価 授業への積極的な参加意欲と態度20%，小試験・レポート30%及び期末テスト・製作物50%			

授業科目名： 木材加工Ⅱ 【共同科目（熊大）】	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：田口 浩継、大塚芳生 担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 技術及び高等学校工業）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・材料加工（実習を含む。） ・工業の関係科目		
授業のテーマ及び到達目標 技術科教育の教員養成に備えるべき材料と加工分野における木材加工の基礎基本として、①手工具、②木工機械の構造と機能を教授する			
授業の概要 木材加工に関する切削理論と加工法，主な木工手工具および木工機械の構造と機能を理解し、中学校技術の授業が担当できる。			
授業計画 第1回：木材の物理的性質（木材の比重，含水率，膨潤収縮率）（担当：田口 浩継） 第2回：木質面材料（合板の構成原則と用途）（担当：田口 浩継） 第3回：木質軸材料（木材異方性を強調する集成材の特徴と用途）（担当：田口 浩継） 第4回：木材の接着・塗装（木材の接着メカニズムと方法、木材の塗装工程と方法） （担当：田口 浩継） 第5回：木工機械（丸のご盤の構造と機能）（担当：大塚 芳生） 第6回：木工機械（かんな盤の構造と機能）（担当：大塚 芳生） 第7回：木工機械（糸のご盤、ボール盤の構造と機能）（担当：大塚 芳生） 第8回：木材の加工法のまとめ（担当：大塚 芳生）			
テキスト 日本産業技術教育学会・技術教育分科会編，技術科教育概論，九州大学出版会 山下晃功編者：技術研究選書，木材の性質と加工，開隆堂			
参考書・参考資料等 検定済み教科書（技術・家庭科）			
学生に対する評価 授業への積極的な参加意欲と態度20%，小試験・レポート30%及び期末テスト50%			

授業科目名： 木材加工実習 【独自科目（熊大）】	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：田口 浩継、 大塚 芳生 担当形態：複数
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 技術及び高等学校 工業）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・材料加工（実習を含む。） ・工業の関係科目		
授業のテーマ及び到達目標 1. 中学校技術科教員に必要不可欠な木材加工に関する基礎知識と基本技能を身につける。 2. 木材を使用して指定製作を実践する。			
授業の概要 木材を使用したものづくり課題として、各種の手工具と機械を安全に使用し、鍋敷き、マルチ ラック等を製作する。また、自由製作品の構造と機能を考えて製図を行い、各種の手工具と機 械を安全に使用し、作品を完成する。			
授業計画 第1回：オリエンテーション（作業の安全性及び手工具、木工用機械の注意事項の周知） 第2回：鍋敷きの製作（木工具を使っただけがき、切断、通しほぞの加工技術の基礎） 第3回：マルチボックスの製作（木工機械を使った切削・切断技術、組み立て技術、塗装技法） 第4回：塗装技術の習得（目止め、着色を含む塗装方法の習得） 第5回：刃研ぎ技術の習得（鉋および鑿の刃研ぎに関する手入れの方法の習得） 第6回：製作品の構想（自由製作品の構想とスケッチ） 第7回：製作品の模型製作（自由製作品のミニチュア模型製作） 第8回：製作品の製図（自由製作品の構造と機能等を考えて製図） 第9回：製作品の製図（自由製作品の構造と機能等を考えて製図を完成） 第10回：製作品の製作（図面に基づきけがき、部品加工：切断） 第11回：製作品の製作（部品加工：切断・切削） 第12回：製作品の製作（部品加工：切削・研磨） 第13回：製作品の製作（組み立て） 第14回：製作品の製作（組み立て・調整） 第15回：製作品の自己評価と総合評価			
テキスト 1. 山下晃功編者：技術研究選書、木材の性質と加工、開隆堂 2. 木材加工系実技教科書、(独)雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究			

センター編
参考書・参考資料等 検定済み教科書 技術・家庭 技術分野 (東京書籍、開隆堂、教育図書) の各社
学生に対する評価 前半の成績は、製作品(70%)及び、積極的な参加意欲・取組姿勢(30%)によって評価する。 製作品及び、実技試験の評価は以下の観点による。 1. 製作品の評価：直角度、精度、塗装等 2. 切削手工具の刃研ぎ技能評価 また、後半に自由製作品については、製作品のデザイン、構造・機能、加工技術、組立技術、 塗装・表面処理(70%)および制作意欲(30%)によって評価する。 製作品及び、実技試験の評価は以下の観点による。 1. 製作品の評価：直角度、精度、塗装、図面との整合性、自己評価、相互評価 2. 実技試験による評価：「鋸びき」「鉋がけ」の加工技能修得度、工具の調整・使用法、加工時の姿勢、仕上がり等